一般社団法人 日本セーフコミュニティ推進機構
Japan Institution for Safe Communities
セーフコミュニティ＆セーフスクール
ISC&ISS NEWSLETTER
Nov. 2014
Vol.2-13 No.22

【十和田市】県で SC 紹介・現地審査リハ

青森県上北地域県民局では、青森県基本計画の上北地域の地域別計画における「安全・安心に暮らせる地域づくりの推進」の一つとして「セーフコミュニティの理念の普及」に取組んでいます。そのため、10 月 30 日に管内自治体職員の方を対象に、セーフコミュニティの概念や事例を知っていただくためのセミナーを開催しました。JISC による概念等の説明と青森県内で唯一セーフコミュニティの認証を取得している十和田市の活動についての紹介からなる二部構成のセミナーでした。

まず、JISC の白石が SC の概念や特徴、進め方、国内外の動向等について説明した後、十和田市の SC 担当の川村氏が十和田の取組みについて報告されました。局長との面談やセミナー後の参加者からの質問などから、県や他自治体も SC へ関心を寄せておられることを感じました。今後の展開を期待しています。

その後、市役所に場所を移し、12 月に入ってすぐに予定されている現地審査のリハーサルを行いました。平日のお昼ではありましたが、SC 十和田を進める会をはじめ対策部会のメンバーができる限り都合をつけて参加されました。予定の時間を大きく超えましたが、それでもできるかぎり残って、少しでも本番に備えようという思いが伝わりました。

続く 11 月 1 日も、土曜日にもかかわらず、リハーサルが行われました。5 月に専門家からいただいたアドバイスを実践してきましたので、それをどう表現・説明していくか、すでに翻訳を始めている関係から修正は限られている範囲で、最終調整を行いました。

【郡山市】SC 活動始動！SC 認証都市シンポ

11 月 4 日、福島県郡山市において、市制 90 周年・合併 50 周年を記念した「セーフコミュニティ国際認証都市シンポジウム」が開催されました。

まず、オープニングには、郡山市長により、SC プログラムを開始する旨が宣言されました。

続いて、JISC 白石が SC に取り組んでいる各自治体の事例などを交えながら SC について講演しました。

休憩をはさみ、すでに SC に認証されている 3 都市（姉妹都市である久留米市と同規模の厚木市や豊島区）の首長を迎えてパネルディスカッションが行われました。まず、各首長が自治体の特徴的な SC の取組みを紹介するとともに、現時点での取組みの成果等についてご紹介されました。それらのご報告を踏まえ、郡山市がこれから取組みを展開していく上でのアドバイス等をされました。

【小諸市】野岸小 児童が安全をチェック

11 月 5 日、小諸市において「学校の安全をチェックしよう！」と称する SC 及び ISS につながる取組みが JISC と小諸市の共催によって行われました。

これは、昨年度に文部科学省の助成金によって実施された「ひらめき★ときめきプロジェクト」のスピンオフの取組みです。今回は、野岸小学校 4 年生約 60 人とともに実施しました。子どもたちは、ワークショップの進め方について説明を受けたのちに、約 6 人ごとのチームになり、学校内の安全をチェックするために会場を飛び出していきました。また、担任の先生方も別途チームを組んで、子どもたちと同様に地図とカメラをもって学校を回りました。

しばらくして会場にもどると、早速、集めた情報を「危ないところ」「安全のための工夫をしているところ」「もっと安全になるための工夫（アイデア）」の 3 つに分類し、模造紙上の学校の見取り図に、写真やカラーマジックを使ってわかりやすくまとめました。最後は、先生チームの成果と比較しながら、振り返りです。子どもたちは、「あ、ここは先生と一緒！」、「ほかにも見つけたよ！」「聞いて、聞いて！」と

次々に手を挙げ、自分たちの成果を報告ました。

今回は、時間の関係から情報共有で終わりましたが、今後は、これらの情報を多くの方と共有し、安全な学校環境づくりに役立てていくことを期待しています。

【甲賀市】サーベイランス委員会を開催

11 月 5 日、甲賀市において外傷サーベイランス委員会が開催されました。

まず、各対策委員会から 5 月の専門家による現地視察の際にいただいたアドバイス等を参考にしつつ検討・推進している取組みの進捗状況と成果指標について報告がありました。続いて、外傷サーベイランスのためのデータ収集について児童虐待関係資料や公立甲賀病院診療記録のデータ提供について協議が行われました。

5 月の現地視察の際に、外傷サーベイランス委員会は、対策委員会との双方性について高い評価をいただきました。今回は、それらを基盤に、各対策委員会とのデータを通じた連携を積み重ね、現在対策委員会が抱える課題への対策進めるにあたって効果的に支援できるサーベイランスの在り方について協議されました。

【北本市】SC 現地審査行われる

11 月 10～11 日、北本市でセーフコミュニティ認証に向けた現地審査が行われました。審査員は、チョ・ジュンピル氏（韓国）とパイ・ル氏（台湾）でした。今回は、さらにオブザーバーとしてペ・ジョンイ氏とペク・キョンウォン氏（ともに韓国）、そして韓国の自治体から約 15 人が視察に来られ、国内外合わせて 100 人を超える同席者のもとで現地審査が行われました。

初日の 10 日は、「全体説明」「自殺対策委員会」「外傷サーベイランス委員会」「子どもの安全対策委員会」「犯罪の防止対策委員会」の報告と駅前での防犯・自殺予防等のキャンペーンの視察が行われました。審査員からは、「全体説明」においては、SC に取組むに至った経緯、基盤の構築、市長のかかわりなどが明確に説明されていると評価をいただきました。また、各対策委員会の報告については、一般市民がわかるように工夫して説明している点が評価されました。特に、自殺対策の報告については、委員全員が報告に携わり、これまでの自殺対策の報告の中で最もよかったと評価をいただきました。

二日目（11 日）は、「交通安全対策委員会」、「高齢者の安全対策委員会」、「災害時の安全対策委員会」の報告と交通安全に関する現地視察が行われました。いずれの報告も体系だった構成と豊富な情報量に対する評価をいただきました。また、前年に行われた現地視察の時点からの大きな進歩や対策委員会の幅広いメンバー構成も評価されました。

全ての報告を終え、最後の講評では、改めてこれまでの取組みに対する高い評価をいただくとともに、テーマと年代で設定されている対策委員会がお互いに共通課題を軸に連携している点は素晴らしいとのコメントをいただき、認証の内定をいただきました。

北本市では各対策委員会とも約 2 年間で 13～18 回の会議とそれに伴う活動を展開しており、その積み上げの成果が形になっていました。様々な立場の方による協働の成果が認証につながった良い事例となりました。

【ISS】富士見台小学校

11 月 13 日、豊島区立富士見台小学校において、第六回セーフスクール交流会が開催されました。今回は、警察や地域代表の方、PTA 代表者、PTA の OB 会など幅広い方が来校され、子どもたちの安全向上に関する取組み報告や教員からの進捗状況等について報告をいただき、分野や立場を超えた情報共有の機会となりました。

まず、児童集会では、各委員会を中心に安全向上に関する取組みの報告がありました。その後、地域の方や関係組織の代表の方たちは、給食をいただきながら取組み状況について情報共有を行いました。区民ひろばをはじめ地域において、学校がどのような安全向上の取組みを展開しているのかを共有することで、地域内での子どもを核としたつながりを改めて認識することができたのではいかと感じました。

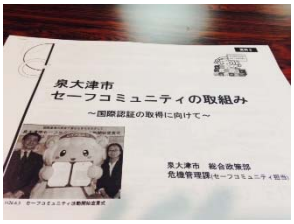
【久留米市】SC 推進協議会にて活動報告

11 月 17 日、久留米市において SC 推進協議会が開催されました。今回は、12 月末に提出予定の SC 年間活動報告案の確認と認証後 1 年の活動状況とその成果の報告が主な内容でした。

最後の質疑応答の場面では、委員の方から質問に加えて、「これまでは、セーフコミュニティといっても具体的に何をしているのかが見えにくかった。しかし、今回の報告を聞いて、市全体でどのような取組みをして、どう成果が出てきているかが分かったし、それをやってくれていることをうれしく思った。これからの取組みに期待しています。」というコメントもいただきました。

【泉大津市】SC 対策委員会が始動！

11 月 18 日、泉大津市において、SC 対策委員会が合同で開催されました。まず、SC 担当者からセーフコミュニティを始めるにあたっての地域診断の結果の概要とそれに基づいて設定された6つの対策委員会等の取組み体制について説明がありました。



その後、JISC 白石より、SC の概要及び対策委員としての役割、これから対策委員会で行うワークショップの意義などについて説明をしました。

最後に、対策委員会ごとに時間を取ってお互いに自己紹介をした後、次回の日程調整を行いました。

【亀岡市】ISS 活動中間報告

11 月 20～22 日、亀岡市では、ISS 専門家であるパク・ナムス氏を招へいして現地指導が行われました。

亀岡市では、8市立保育所、1私立保育園、そして1市立小学校が ISS に取り組んでいます。今回は、今年 3 回目の認証を終えたジュンジャ小学校（韓国）を支援してきた、パク氏に取組みを見ていただき、方向性を確認するとともに、今後の進め方に対して助言をいただきました。

まず、19 日に市長・副市長等との面談ののち、亀岡市としての体制や SC との連携等の各園・所・学校の共通項目について全体像として説明をし、その後 2.5 日間にわたるスケジュールを説明しました。

続く 19 日からは、各保育所・園、小学校を訪れ、取組みについて報告をいただくとともに、施設や敷地内を案内しながら、安全対策について紹介いただきました。また、限られた時間の間を縫って、子どもたちからも歌や太鼓演奏、そして茶道など、ISS 活動に関する取組みを紹介いただきました。パク氏は、韓国との文化の違いに驚かれながらも、子どもたちからのかわいらしいおもてなしを楽しまれました。

また、曽我部小学校では、この機会を通してより多くの学校や地域、保護者の方たちに取組みを見ていただくために、全学年の公開授業としました。パク氏は、通常の授業や活動に ISS 活動を取り入れている点について評価され、「いかに日頃の教育活動などに負担のない形でとり入れるかが大切です。まさに、それを実践されていますね。」とコメントされました。

最終日（22 日）、全ての視察を終えた後の全体講評では、子どもたちの主体的な参画を評価するとともに、今後のさらなる展開に向けて、「課題」と、それに対する「取組み」、そして「成果」がセットで示されることでよりクリアに全体像が見えてくると次へのステップに向けたアドバイスをいただきました。

【JISC】観音寺市で SC について紹介

11 月 24 日、香川県観音寺市において、SC についてご紹介する機会をいただきました。本市では、市議によって「市民フォーラム」が毎年開催されています。今年は、住民の関心が高い、地域での安全・安心に関する取組みをテーマにしたいと思われ、JISC に問い合わせをいただきました。

当日は、市民会館等が工事中であったため、近所の小学校を会場に行われました。まず、地域の小学校の取組みを様々な視点からサポートされている「常盤地区学校等運営協議会（通称：イエロー隊）」の代表である石川氏から取組みの紹介がありました。「頼まれることだけやる。こちらから口出し・手出しをしない。」、「助成金はくれると言われても断る。ただでもらうとそのお金が切れたときに活動が終わる。」という姿勢と「責任を持って活動にかかわってもらうために、メンバーには年会費を払ってもらう」という工夫が印象的でした。

続いて、JISC からは、SC と ISS について事例を用いて説明させていただきました。

祝日の夕刻にもかかわらず、200 人余りの住民や市議の方が参加され、うなずいたりしながら熱心に聞いてくださいました。

【秩父市】SC 対策委員会で情報共有

11 月 25～26 日、秩父市において対策委員会による合同会議と ISS に取組む 2 小学校及び1中学校での活動報告がありました。

対策委員会合同会議では、各対策委員会の正副委員長と事務局が出席しました。事務局からこれまでの取組みの経緯等について報告し、それに正副委員長が補足しました。対策委員会の重点課題のなかには、他の対策委員会と重複する部分も少なくありません。会議のなかでは、対策委員会が提示する課題について、他の委員会が「その点については、私が所属する団体でも手伝えますよ」という申し出があるなど、取組みに関する情報共有だけでなく取組みの連携のきっかけも生まれました。会議の最後には、出席された対策委員から「今回のような機会があると、他の対策委員会がどのようなことをやっているのかわかってとてもよい。一緒にできることも多くあるとおもうので、今回だけで終わらずに今後も開催してほしい」という意見がだされました。

また、花の木小学校、南小学校、第二中学校では、これまでの安全診断の結果と、取組みについてご報告いただきました。単に取組みを紹介するだけでなく、その背景にある安全診断の結果明らかになった課題も合わせて見せていくことが大切ですが、その部分を児童や生徒たちが自分たちの言葉で報告してくれ、とても心強く感じました。

来年には、申請を目指していることから、次回ご報告いただく際には、取組みのますますの展開とそれによってどのような変化がでてきたのかをご紹介いただけるのかを楽しみにしています。

【豊島区】外傷サーベイランス委員会

11 月 26 日、豊島区において外傷サーベイランス委員会が開催されました。今回は、外傷ピラミッドをカバーする各種データの収集方法やコンテンツについて事務局から説明をいただいた後、高齢者の転倒予防と虐待防止、児童虐待の防止について対策委員会事務局からご報告をいただきました。

豊島区は、2012 年 12 月に認証され、この 12 月で丸 2 年を迎えます。これから中間点に差し掛かる時期を迎え、SC による影響を検証することがより大切になってきます。今後のサーベイランス委員会と対策委員会との協働を期待しています。

【浦和学院】教職員対象研修会を実施

11 月 27 日、今年から ISS に取組んでいる浦和学院高等学校（埼玉県）において、教員約 200 人を対象にセーフスクールについてお話をしました。

まず、ISS を担当されている先生方と進捗状況等について簡単にお話をお伺いし、校長との面談の後、会場に向かいました。

今回は、事前に安全診断の大まかな結果をいただいていたので、浦和学院高校の事例をもとに ISS の考え方と進め方をお話することができました。夕方からの講演でしたので、お集まりになった先生方は、授業の後でお疲れだったかとおもいますが、より身近な事例を用いていたこともあり、うなずいたりメモをとったりしておられました。

浦和学院高等学校は私立ですが、現在 SC の着手に向けて準備されているさいたま市に位置しており、SC ご担当者との情報交流を積極的にされています。また、教育委員会も ISS についてご関心をおもちのため、当日は、市議会でご多忙のなか、教育委員会のご担当者もお越しになっていました。今後の新たな連携を期待しています。

【栄区】年間報告書提出及び次年度打合せ

11 月 28 日、横浜市栄区役所において、SC ご担当の方々と来年度に向けた SC の進め方などについて打合せを行いました。前月に提出いただいた年間活動レポートを基に、この 1 年の振り返り行うとともに、現在の取組みにおける課題について一緒に検討したり、アドバイスを差し上げたりしました。

SC 認証後は、SC の周知やより多くの方の関与や取組み継続性といった、認証前とは違った点に焦点を当てた工夫が大切になることから、国内外の事例を紹介したり、協働センターの動向などを考慮しながら、栄区の特徴を生かした再認証に向けた方向性を検討しました。